

第1回

水土里のみちウォーキング
in抱返り溪谷

— 原生林の中の青い溪流美を散策 —



9月9日(日)、仙北市田沢湖卒田、抱返り溪谷付近を散策する「第1回水土里のみちウォーキングin抱返り溪谷」が開催された。

今年、初開催となるこのイベントは、仙北市神代地域の「温泉ゆぽぽ」を出発して、抱返り溪谷の「回顧の滝」までを自分のペースで歩きながら、農業水利施設の役割と豊かな自然を再発見するもので、水土里ネット大曲仙北職員会が

主催し、県仙北地域振興局、水土里ネット秋田、水土里ネット仙北平野、水土里ネット田沢疏水、水土里ネット七滝の共催で行われた。

今回は、約6.8kmのコースに72人の参加があり、約2時間30分の散策を楽しんだ。出発時、あいにくの小雨に見舞われたが、スタートして間もなく天候も回復し、



さわやかな秋晴れの下、参加者は普段立ち入ることのできない玉川頭首工の管理用歩廊をとおり、畦道を歩きながら溪谷へ向かい、抱返り頭首工の操作室見学など、土地改良施設の役割や地域の歴史などを学んだ。

家族3人で参加した方は「大小の滝や原生林の緑を楽しむ事ができて良かった。また、子供を連れて来たい」と話していた。

このイベントを、ぜひ来年度も開催して県内でも有数の参加規模のウォーキング大会となるように期待します。



平成24年度秋田県土地改良事業推進大会

❖平成24年11月2日(金) 午後1時00分

❖能代市「能代市文化会館」 能代市追分町4-26

平成24年度 インターンシップ受け入れ

県内高校生を対象とした今年度のインターシップ(就業体験学習)の受け入れを、7月30日～8月1日の日程で本会事務所や美郷町並びに由利本荘市の現地で実施した。

この度の実習生は、県立金足農業高校環境土木科2年生3名で、一行は3日間の実習内容のレクチャーを受けた後、本会職員の指導のもと、普段学校では使うことのない測量器械などに触れながら実習を行った。

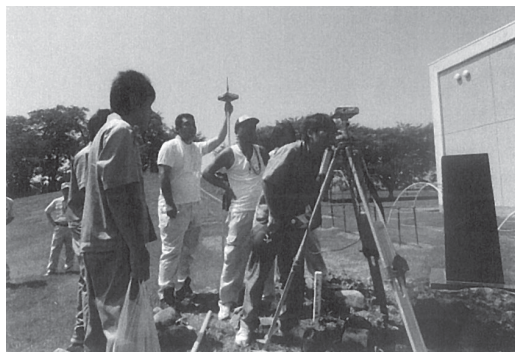
○1日目 GPS測量機による基準点測量の実習(美郷町千畑大畑地内)

○2日目 午前：集落排水管路設計用平面測量のための基準点測量(由利本荘市東由利)
午後：農業水利施設についての研修(由利本荘市)

○3日目 ほ場整備事業の設計演習(水収支計算)

3日間の実習では、GPS測量機などの最先端の技術を使つての測量実習、ため池の取水施設や頭首工、簡易除塵機等の農業水利施設の見学研修などを行い、普段の学校の授業では得られないものを自ら体験した。

インターシップに参加した生徒は、「学校ではやったことのない測量等を経験できた」、「知らないことをたくさん得ることが出来て、よい経験になった」、「今回指導してもらった事を学校の実習で生かしていきたい」などと実習を終えての感想を話していた。



《夏休み後に届いた生徒からの礼状》

先日はお忙しい中、職場体験をさせてくださり本当にありがとうございました。この体験は私の将来を考える上で、とても貴重な体験でした。特に、GPS測量機器の据え付けなど、学校では学べない事を学ばせていただきました。この体験をこれからの高校生活にも生かし、ますます励んでいきたいと考えております。

これからも何かの機会にお会いすることがありましたら、今後ともよろしく申し上げます。(抜粋)

「あきた体験農園」の取り組み状況

秋晴れの中で、「あおぞら保育園」のサツマイモ掘り体験 ～平成24年度活動報告～



「あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)」では、9月18日、秋晴れの下で約18名の会員・あおぞら保育園(年長組の皆さん)25名が参加して、春に植え付けした「サツマイモの収穫」が行われた。約250㎡(3畝)のサツマイモを参加者全員で土を掘り起こしながら収穫し、その後選別作業も行われ、さわやかな汗をかきながら「お芋おいしそうだね」と笑顔で話していた。

また、今年の第135回秋田県種苗交換会(能代市)で開催される「農業農村整備フェア」には、この日の収穫体験の様子を描いた園児たちの「サツマイモ掘りの絵」を展示する予定になっている。あきた農業体験施設では、11月3日に予定している収穫祭に向けて、今後は「里芋の収穫」や「白菜の生育管理」などの実施を予定している。



【担当・問合せ先】 あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)事務局
 水土里ネット秋田 総務企画部内 TEL.018-888-2712 FAX.018-888-2834

平成24年度土地改良関係団体役職員講習会の開催日程について

管内	開催日	開催地
鹿角、大館・北秋田(職員)	11月8日(木)	鹿角市 「鹿角市交流センター」
仙北(職員)	11月9日(金)	仙北市 たざわこ芸術村「温泉ゆぼぼ」
鹿角、大館・北秋田(役員)	11月14日(水)	鹿角市 「鹿角市山村開発センター」
仙北(役員)	11月14日(水)～11月15日(木)	仙北市 田沢湖高原温泉「プラザホテル山麓荘」
山本	11月15日(木)	能代市 「キャッスルホテル能代」
平鹿	11月16日(金)	横手市 「松興会館」
秋田(役員)	11月26日(月)	秋田市 「ホテルメトロポリタン秋田」
由利	11月27日(火)	由利本荘市 「本荘グランドホテル」
雄勝	11月29日(木)	湯沢市 「湯沢グランドホテル」
秋田(職員)	12月7日(金)	秋田市 秋田温泉「秋田温泉プラザ」

【特集】

農業水利施設内の「ゴミ」問題

▶▶ シリーズ⑪

農業水利施設の「ゴミ」問題に対し、水土里ネットの生の声を聞くことができました。〈アンケート調査結果より〉

〈鹿角管内〉

- 農業施設に生活ゴミがかなり多く混入しております。農家の人だけではなく地域住民の人達ももっと身近な問題として考えてくださるような体制作りをしていかないと、安全・安心な作物はできないと思う。

〈大館・北秋田管内〉

該当なし

〈山本管内〉

- 水土里ネット関係者には、「ゴミゼロ」運動の周知がされてきているが、一般住民の協力が絶対不可欠であることを考えると、地域住民への周知方法を工夫する必要があると思う。
- 今後のために必要だと思う。
- 町と共に取り組みたい。

〈秋田管内〉

- 各地域の取り組み等をお聞きしたい。
- 広範囲なマスコミキャンペーンが必要と考える。
- 会員相互で注意している。
- すぐには改善しないと思うが、継続していくことが重要だと思う。
- 効果があると思うため、今後も実施してほしい。

〈由利管内〉

- 各土地改良区では、年1回「土地改良区だより」を発行している。組合員への啓発活動を含め「ゴミゼロ」運動について、統一的な内容を示していただければ「土地改良区だより」に掲載していきたい。

〈仙北管内〉

- 粗大ゴミ等の不法投棄が増加している（特に山間部）。監視カメラの設置は費用の問題で困難である。各水土里ネットによる啓発活動は大変重要であると考えます。
- 毎年、春の水路清掃時、組合員に対して水利用についての文書を配布しているの、農家の方々はある程度理解していると思う。今後は、非農家に対して農業用水は、地域用水としても重要である旨の周知が必要と考えている。
- 取り組み事例を多く紹介してほしい。
- 「ゴミゼロ」運動の強化でゴミが減ることに期待したい。
- 「ゴミゼロ」ののぼり旗は他土地改良区でどのように利用しているのか、情報があったら広報誌に掲載していただきたい。

〈平鹿管内〉

- 年々、水路にゴミの投棄等も増えてきているので、「ゴミゼロ」運動は継続していただきたい。
- ゴミ問題については地道な活動が必要とされるので、引き続き啓発活動を進めていかなければならないと思う。
- 個人個人の意識改革が必要だと思うので、公共的な取り組みが必要と思う。

〈雄勝管内〉

- モラルの低下もゴミが増える要因の一つなので、「結果こうなりますよ」というように、地元市報や魁新聞等で頻繁に啓発するのも意識改革につなげるのではないかな。
- 「ゴミゼロ」運動ご苦労様です。まだまだのぼり旗等は検討しますので、よろしくお願ひします。
- 一番簡単で難しいのが、一人一人がゴミを捨てないようにする事だと思うが、(看板等の設置もあまり効果がない)子供たちはゴミ捨て防止の標語コンクール等に応募してくれたりしているので捨てないが、大人の人達が(特にお年寄り)捨てるので、子供達を通じて捨ないようにPRしていくと良いと思う。

「農地・水環境保全組織」との連携



〔横手市横手地域 農地・水・環境保全組織（南旭川）〕



〔山田五ヶ村地域 農地・水・環境保全管理組織（山田五ヶ村）〕



【担当・問合せ先】 秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局
 水土里ネット秋田 総務企画部内 TEL.018-888-2748 FAX.018-888-2834